

薬局からのお知らせ (DI 通信) Vol.4



医療機関の皆様へ

日頃よりお世話になっております。

薬局からのお知らせを送付いたします。

日々の診療にお役立ていただきますと幸いです。よろしくお願いいたします。



Topic : 膵臓診療ガイドライン 2025

膵臓がんの疫学

2025年のがん罹患数予測および死亡数予測¹⁾によれば、膵臓がんは罹患数予測が48,000人と第6位(第1位は大腸がん160,000人)ですが、死亡数予測では42,300人と第3位(第1位は肺がん77,800人)です。また、人口の高齢化の影響を除いた年齢調整率²⁾で見ると、がんの罹患は2010年前後まで増加しその後横ばい、死亡は1990年代半ばをピークに減少していますが、膵臓がんは罹患、死亡ともに増加しています。2012年から2015年にがんと診断された症例の集計³⁾では、膵臓がんの5年純生存率は10%と、極めて予後の悪い疾患です。

1) 統計予測: [国立がん研究センター がん統計]

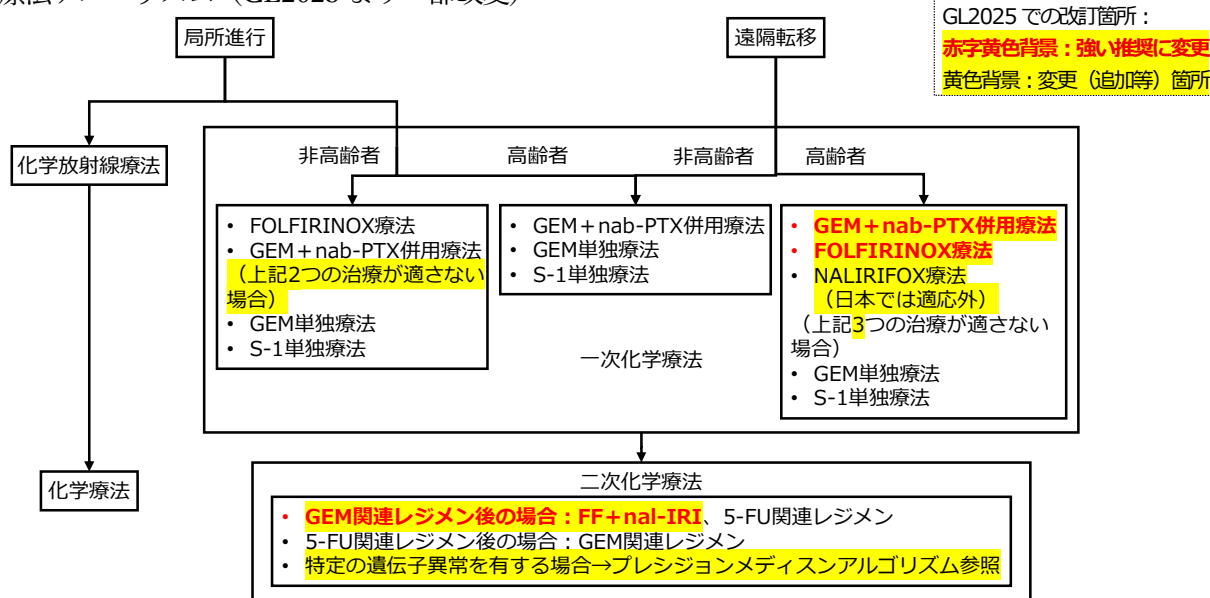
2) 年次推移: [国立がん研究センター がん統計]

3) 2012-2015年の4年間に診断されたがんの5年生存率を公表 がん対策の立案・評価に有用な指標を作成 | 国立がん研究センター

膵臓診療ガイドライン

日本膵臓学会による診療ガイドラインで、本邦における膵臓患者の生存期間の延長とQOLの向上をめざして、膵臓診療に関わる臨床的な疑問に対する推奨を明らかにすることを目的としています。2006年の初版以来、3~4年毎に改訂が行われ、2022年第6版から3年経った昨年2025年に第7版(GL2025)が公開されました。

薬物療法アルゴリズム (GL2025 より一部改変)



NALIRIFOX 療法

FOLFIRINOX療法に含まれるイリノテカン IRI (トポテシン) 点滴静注を、IRIの改良薬剤であるナノリポソーム型 (nal-) IRI (オニバイド) 点滴静注に変更したレジメンです。nal-IRIは現在、5-FU/LVとの併用での治療切除不能な膵臓がんに対する二次化学療法のための適応であり、早期承認が望まれています。

* このお知らせは「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則」第10条の3第4項第10号に基づき、地域における他の医療提供施設に対し、薬局から医薬品の適正使用に関する情報を提供するために作成しています。